

防災部活動レポート

第四・第九中学校

2月18日

ジュニア防災検定



防災部では、活動目標として3年生までに全員が「ジュニア防災検定」上級の取得を掲げています。今回は第四・第九中学校防災部26人が受験。筆記試験だけでなく事前・事後課題でレポートや自由研究があり、自分で考え、判断する力や表現力などを養うことができます。

第三・南千住第二中学校

2月21日

災害わたしのそなえ座談会



地域防災計画モデル地区となった、南千住のマンション「トキアス」の意見交換会を河野太郎防災担当大臣が視察。第三・南千住第二中学校の防災部も参加し、自分たちの意見を伝えました。

全区立中学校

3月5日 あらBOSAI (あら坊祭) 2016



遊びながら体験して防災について学ぶ「あらBOSAI (あら坊祭) 2016」が開催。D級ポンプ操作や応急救護実演など、各中学校防災部が力を合わせてイベント運営を行いました。

懐かしいあの日あの時

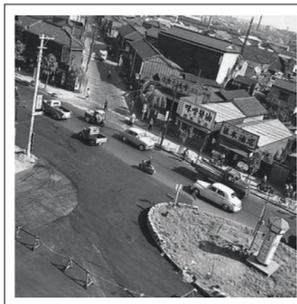
思い出写真館

No.30

サンパル荒川前ロータリー

大規模改修工事のため休館しているサンパル荒川が、1年の工事期間を経て4月に再開します。そんなサンパル荒川の前に昔ロータリーがあったことを知っていますか？

荒川区内では宮地ロータリーが有名ですが、サンパル荒川前も明治通りや千住間道など6つの道路が交差する場所でした。多くの車やバイク、人が行き交う交通拠点となっていました。



昭和30年ごろに撮影されたサンパル荒川前ロータリーの写真



水素のこともっと知りたいな

▲ディスペンサーと燃料電池自動車を接続する水素充填ノズル。思わず「重たい!」。高圧の水素が漏れないよう頑丈に作られています

▲水素ステーションについて、東京ガスの高橋さんに教えてもらいました。これはディスペンサーという装置。ホースとノズルを通じて、燃料電池自動車に水素を補給します



▲燃料電池自動車ドライブ。水素が満タンなら500キロメートル以上走ります

▲約700気圧に圧縮したおよそ5キログラムの水素を、約3分で補給することができます



▲燃料電池自動車から排出された水を発見! 「もっと大量に水が出るのかと思った」



乗り心地バッチリ!



▲燃料電池自動車から排出された水を発見! 「もっと大量に水が出るのかと思った」

水素と酸素を「使って走る自動車」
次世代のクリーンエネルギー。水素はどんなものだろう。
水素をいち早く実用化している代表例の一つに燃料電池自動車があります。水素と空気中の酸素を使って発電し、モーターが動く仕組みです。走る時に排出するのは水だけ。二酸化炭素や有害なガスを出さず、地球環境に優しい乗り物です。

「水素で走る自動車があるんだね」と森本くんは興味津々の様子でした。
燃料電池自動車に水素を供給する水素ステーションでは、さまざまな技術が活用されています。水素を圧縮した状態で保存。それによって、短時間で効率的に水素を供給することができ、安全面でも「水素を漏らさない・漏れてもためない・着火させない」ために、何重もの対策を施しています。宮下く

んは「水素は危険なのか?」と心配していたけど、こんなにしっかりした設備なら安心」と話していました。
水素ステーションで初めて見る水素ステーション。水素を供給するディスペンサーの後方には、水素製造装置や水素圧縮機、蓄圧器などの設備が並んでいます。「こういう場所がすぐ身近にあったことがわかってうれしいです」と鈴

木さん。設備見学の後には、燃料電池自動車に乗せてもらいました。エンジン音がなく滑らかに走るの、燃料電池自動車ならではの特別感。大井さんは乗り心地について「運転手さんがアクセルを踏むとすぐに加速してビックリした」そうです。次世代のエネルギー技術について学び、実際に体験したジュニア記者。「エコでクリーンな水素エネルギーをもっと活用したい」と感じた一日でした。



千住水素ステーション
所在地 南千住3-28-1
問合せ ☎(5604) 8175

新しい技術は人にも地球環境にも優しく快適

初めての水素エネルギー体験

第三中学校のジュニア記者が訪ねたのは、燃料電池自動車に水素を供給する東京ガスの千住水素ステーション。どのように水素が作られ、活用されるのか、耳で聴いて、目で見て、手に触れて、体感しました。

水素で何をするのかな?

水素で何をするのかな?

水素で何をするのかな?

荒川総合スポーツセンターで5kW級業務用燃料電池の実証試験中

東京ガスと連携して取り組む5kW級燃料電池実証試験が自治体で初めて荒川総合スポーツセンターで行われています。平成29年度市場投入を目指し、耐久性や導入効果を検証するため、平成29年3月まで実施。燃料電池で発生した電気は1階フロアの照明に、熱はシャワーの一部に使われます。発電量などを表示するモニターやお湯に触れられるコーナーもあるので、ぜひ行ってみよう。

▲燃料電池で発生する熱は無駄なく効率的に利用されます



▲試験開始初日はセレモニーが行われ、多くの方が集まりました

燃料電池キットで発電実験をしたよ!

水素と酸素が結合して水になる時、電気と熱が発生します。この化学反応を利用して、燃料電池はエネルギーを作り出します。実験キットで仕組みを学びました。



▲精製水を電気分離装置に入れて、電気分解すると酸素と水素が発生。それぞれチューブを通してシリンダーにたまりませ

あらかわエコセンターには、今回ジュニア記者が紹介したキットのほかにも、ラジコン車を走らせるキットもあります。みんなも体験に行ってみよう!

あらかわエコセンター
所在地 荒川1-53-20
開所時間 月~金曜日 午前9時~午後5時
(土・日曜日、祝日など、年末年始は休館)
問合せ 環境課 ☎内線482